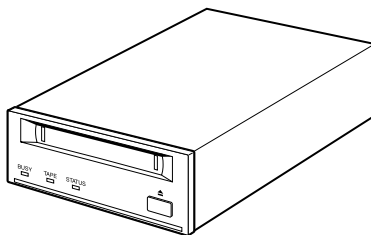
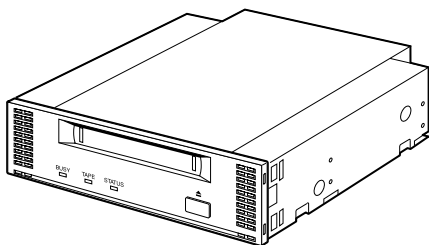


NEC

N8151-26/N8151-43 内蔵 DAT 取扱説明書



ご注意

- 製品をご使用前になる前に必ず本書をお読みください。
- 本書は、熟読の上、大切に保管してください。

商標について

Microsoftとそのロゴ、Windows、およびWindows NTは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Digital Data Storageはソニー株式会社の商標です。

記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

Windows NT 4.0はMicrosoft® Windows NT® Server network operating system version 4.0、およびMicrosoft® Windows NT® Workstation network operating system version 4.0の略称です。

Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional、Microsoft® Windows® 2000 Server、およびMicrosoft® Windows® 2000 Advanced Serverの略称です。

サンプルアプリケーションで使用している名称は、すべて架空のものです。実在する品名、団体名、個人名とは一切関係ありません。

海外でのご使用について

この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格等の適用を受けておりません。したがって、この装置を輸出した場合に当該国での輸入通関および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- (4) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- (5) 運用した結果の影響については(4)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

この取扱説明書は、必要とすく参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。「使用上のご注意」を必ずお読みください。

使用上のご注意 ~必ずお読みください~

本装置を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。

安全にかかわる表示について

本書にはどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うのか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

本書、および警告ラベルでは危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されます。



警告







指示を守らないと、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。





注意

指示を守らないと、火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

	注意の喚起	この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	(例)  (感電注意)
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	(例)  (接触禁止)
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	(例)  (プラグを抜け)

(本書での表示例)




注意を促す記号	危険に対する注意の内容	危険の程度を表す用語
		注意
	<p>電源がONのまま取り付け・取り外しをしない</p> <p>基本処理装置への取り付け・取り外しの際や、周辺機器との接続の際は必ず主電源に接続している電源コードをACコンセントから抜いてください。電源コードがACコンセントに接続されたまま取り付け・取り外しや接続をすると感電をするおそれがあります。</p>	

本書および警告ラベルで使用する記号とその内容



注意の喚起

	感電のおそれがあることを示します。		発煙または発火のおそれがあることを示します。
	指などがはさまれるおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。

行為の禁止

	特定しない一般的な禁止を示します。		本装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。
	本装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		

行為の強制

	本装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。
--	--	---	--

安全上のご注意

本装置を安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解し、安全にご活用ください。記号の説明については巻頭の『安全にかかわる表示について』の説明を参照してください。

全般的な注意事項

警告



煙や異臭、異音がしたまま使用しない

万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに基本処理装置の電源をOFFにして電源コードをAC コンセントから抜き、本装置のDCケーブルを抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。



針金や金属片を差し込まない

通気孔やカートリッジ挿入口から金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。

注意



海外で使用しない

本装置は、日本国内専用の装置です。海外では使用できません。この装置を海外で使用すると火災や感電の原因となります。



装置内に水や異物を入れない

装置内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐに基本処理装置の電源をOFFにして電源コードをACコンセントから抜き、本装置のDCケーブルを抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社に連絡してください。

電源・電源コードに関する注意事項

警告



ぬれた手でDCケーブルを持たない

ぬれた手でDCケーブルの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

注意



電源がONのまま取り付け・取り外しをしない

基本処理装置への取り付け・取り外しの際や、周辺機器との接続の際は必ず主電源に接続している電源コードをACコンセントから抜いてください。電源コードがACコンセントに接続されたまま取り付け・取り外しや接続をすると感電をするおそれがあります。



中途半端に差し込まない

DCケーブルはしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因となることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。



指定以外の接続をしない

DCケーブルの接続や配線は本書の説明に従って正しく行ってください。指定以外の接続や配線は火災や感電の原因となるおそれがあります。



破損したケーブルを使用しない

ケーブルを接続する前にコネクタが破損していたり、コネクタピンが曲がっていたり、汚れたりしていないことを確認してください。破損や曲がっているコネクタおよび汚れたコネクタを使用するとショートにより火災を引き起こすおそれがあります。



指定以外のケーブルを使用しない

基本処理装置と接続するケーブルは当社指定のものを使用し、接続先をよく確認してください。指定以外のケーブルを使用したり、指示とは異なる接続のまま使用したりすると火災を引き起こすおそれがあります。

 **注意**



通気孔をふさがない

本装置の前面にある通気孔をふさがないでください。内部の温度が上昇し、誤動作の原因となるばかりでなく、火災や感電の原因となります。



プラグを差し込んだままインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない

インタフェースケーブルの取り付け/取り外しは基本処理装置の電源コードをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても電源コードを接続したままケーブルやコネクタに触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。



指定以外のインタフェースケーブルを使用しない

インタフェースケーブルは、NECが指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。

また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。

- ケーブルを踏まない。
- ケーブルの上にものを載せない。
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。
- 破損したケーブルを使用しない。
- 破損したケーブルコネクタを使用しない。
- ネジ止めなどのロックを確実に行ってください。

お手入れに関する注意事項



警告



自分で分解・修理・改造はしない



本装置の分解や、修理・改造は絶対にしないでください。装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。



プラグを差し込んだまま取り扱わない

お手入れは、基本処理装置の電源をOFFにして、電源コードをACコンセントから抜き、本装置のDCケーブルを抜いてください。たとえ電源をOFFにしても、電源コードを接続したまま装置内の部品に触ると感電するおそれがあります。



注意



中途半端に取り付けない

DCケーブルやインタフェースケーブルは確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。

運用中の注意事項

注意



カートリッジ挿入口に手を入れない

カートリッジ挿入口に手を入れないでください。手を挟まれたり、巻き込まれたりしてけがをするおそれがあります。



雷がなったら触らない

雷が鳴りだしたら、DCケーブルに触れないでください。感電の原因となります。



ペットを近づけない

本装置にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が装置内部に入って火災や感電の原因となります。



近くで携帯電話やPHS、ポケットベルを使わない

本装置のそばでは携帯電話やPHS、ポケットベルの電源をOFFにしておいてください。電波による誤動作の原因となります。

目次



商標について	ii
⚠ 使用上のご注意	iii
本書を読まれるにあたって	1
本文中の記号について	1
梱包箱の中身	2
梱包材	2
開梱	2
ハードウェア編	3
各部の名称と働き及び設定方法 (SCSI ID等)	3
基本処理装置等への設置方法	9
基本処理装置側の設定方法	11
N8151-26/N8151-43の使用方法	13
清掃	14
4mmデータカートリッジ	16
4mmデータカートリッジの構造	16
仕様・保管・運搬条件	16
ラベル	17
ライトプロテクト	18
取り扱い上の注意事項	18
使用禁止基準	20
寿命	20
重要なデータのセーブについて	21
データの3世代管理について	22
データカートリッジの保管について	22
付録	23
主な仕様	23
LED表示一覧	24
運用状況お客様記入シート	27

本書を読まれるにあたって

本書はN8151-26/N8151-43内蔵DATの取扱説明書です。基本処理装置本体の操作説明については基本処理装置のマニュアルをご覧ください。

本文中の記号について

本文中では、次の記号を使って運用上の注意やヒントを示しています(安全上の注意事項に関する記号については巻頭の説明をご覧ください)。

 重要	装置の取り扱いや、ソフトウェアの操作で守らなければならない事柄や特に注意をすべき点を示します。
 ヒント	知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。

重要

N8151-26/N8151-43には当社製4mmデータカートリッジ(EF-2422 (150m) EF-2417 (125m) EF-2409 (120m) EF-2407 (90m))をご使用ください。

ただし、EF-2407(90m)につきましては読み取り(READ)のみ保証します。当社製以外の4mmデータカートリッジを使用するとリード/ライトエラーの原因となる場合があります。

梱包箱の中身

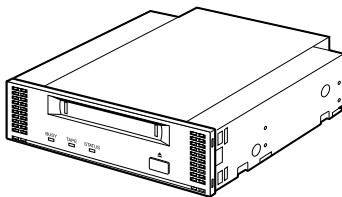
梱包材

本装置を輸送するときは、本装置の梱包に使用されている当社製の梱包材を入れていただくようお願い致します。

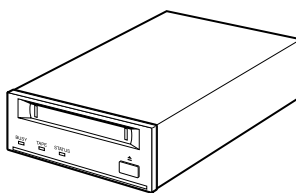
開梱

梱包箱を開けて、必要な付属品が揃っていることをご確認ください。

N8151-26 内蔵DATの場合

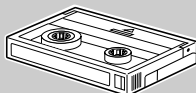


N8151-43 内蔵DATの場合

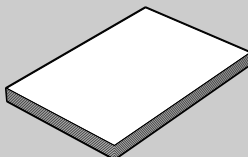


下記の付属品は、N8151-26/N8151-43 共通です。

クリーニングカートリッジ
(長さ5.0 mm)



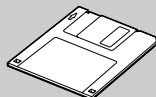
取扱説明書(本書)



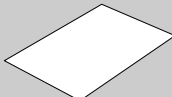
取り付けネジM3(4本)



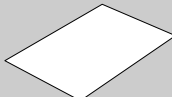
フロッピーディスク*



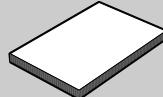
保証書



DAT装置 取り扱いについて



テープ監視ツール取扱説明書



*本フロッピーディスクには、デバイスドライバとテープ監視ツールが入っています。デバイスドライバのインストールについては、本書の11ページを参照してください。テープ監視ツールについては、添付の取扱説明書を参照してください。

「保証書」は大切に保管しておいてください。修理の際に必要となります。
N8151-26/N8151-43内蔵DAT装置を譲渡する場合は、取扱説明書も一緒に譲渡すること。

本装置およびカートリッジの廃棄については、各自治体のルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。

ハードウェア編

各部の名称と働き及び設定方法 (SCSI ID等)

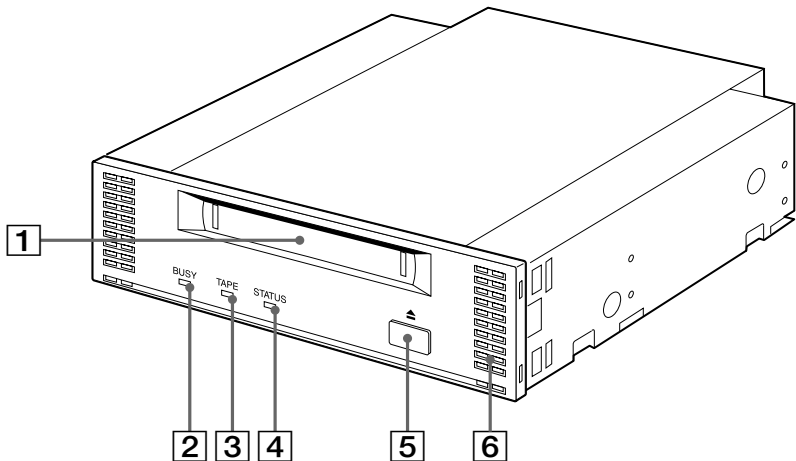


重要

N8151-26/N8151-43の各部の名称と働きおよび設定方法は、共通です。

(以降、本書内ではN8151-26の図を使用して説明します。)

前面



1 4 mmデータカートリッジ挿入口
4mmデータカートリッジを入れます。カートリッジの入れかた、出しかたについては「4mmデータカートリッジの挿入」および「4mmデータカートリッジの抜き取り」をご覧ください。

2 BUSY LED
SCSIインターフェースを通してデータのやり取りが行われているときに点灯します。

また、挿入されている4mmデータカートリッジのデータが正常に読み取り書き込みが行われているときは等間隔に点滅します。

このLEDが点灯している間に電源のON/OFFを行うとリードエラーが発生したり、異なったデータを書き込んだり、4mmデータカートリッジに致命的な傷をつける恐れがありますので、絶対に行わないでください。

3 TAPE LED

4mm データカートリッジが収納されている間、点灯します。また、以下のようなどときには点滅します。

カートリッジの出し入れを行っているとき	等間隔に点滅します。
カートリッジが劣化してきたとき	長い点灯と短い消灯を繰り返します。

4 STATUS LED

挿入されている4mmデータカートリッジが書き込み禁止状態になっているときに点灯します。また、以下のようなどときには点滅します。

クリーニングが必要なとき	長い点灯と短い消灯を繰り返します。
クリーニング中、テープが最後までできたとき	等間隔に点滅します。
ドライブが故障しているとき	短い点灯(2回)と長い消灯を繰り返します。

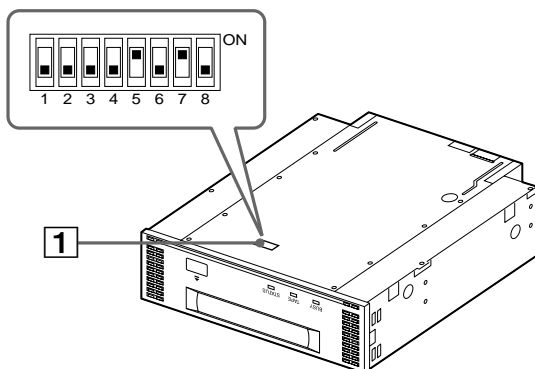
5 EJECT ボタン

データカートリッジを本装置から取り出すときに押します。

6 通風口

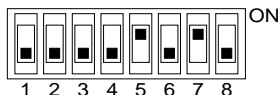
(N8151-43には通風口はありません。)

底面



1 DIPスイッチ

- ターミネータ電源供給 (Terminator Power) (工場出荷時の設定は「ON」) [スイッチ5]
- データ圧縮設定 (1) (DC Control) (工場出荷時の設定は「ON」) [スイッチ7]
- データ圧縮設定 (2) (DC Control) (工場出荷時の設定は「OFF」) [スイッチ8]



- スイッチ1～4：未使用
- スイッチ5：Terminator Power
- スイッチ6：未使用
- スイッチ7：DC Control (1)
- スイッチ8：DC Control (2)



工場出荷時設定のままで使用してください。

ターミネータ電源供給の設定 ~ Terminator Power ~



ターミネータ電源をSCSIバスに供給するか供給しないかを設定します。

設定はスイッチ5を使います。「ON(工場出荷時の設定)」でターミネータ電源を供給する設定に、「OFF」で供給しない設定になります。

重要

本装置をN8541-28、N8141-28Aデバイス増設ユニット(ラックマウント用)に取り付ける場合は、スイッチをOFFにしてください。

データ圧縮の設定 ~ DC Control (1) ~



本装置が持つデータ圧縮機能を有効にするか無効にするかを設定します。

設定はスイッチ7を使います。「ON(工場出荷時の設定)」でデータ圧縮機能を有効にする設定に、「OFF」でデータ圧縮機能を無効にする設定になります。

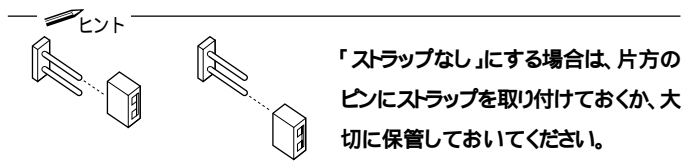
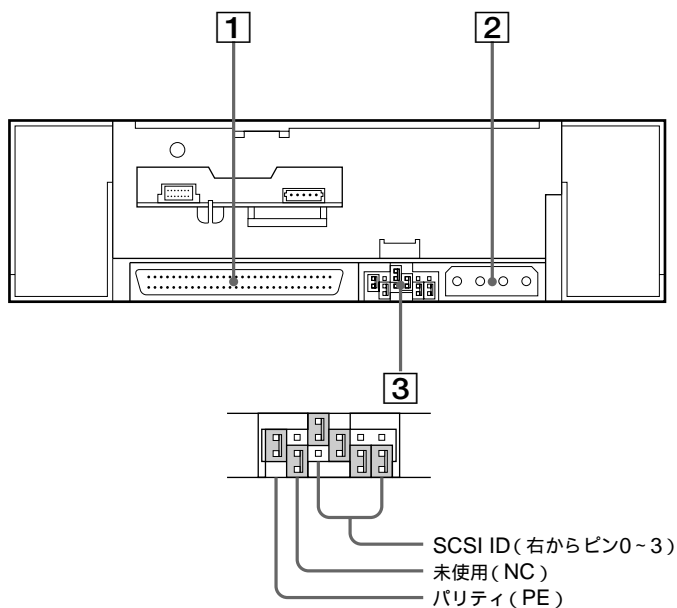
データ圧縮の設定 ~ DC Control (2) ~



バックアップアプリケーションからデータ圧縮の制御を有効にするか無効にするかを設定します。

設定はスイッチ8を使います。「ON」でバックアップアプリケーションからデータ圧縮の制御を無効にする設定に、「OFF(工場出荷時の設定)」でバックアップアプリケーションからデータ圧縮の制御を有効にする設定になります。

背面



ここでの「ストラップあり」とは、2つのピンにストラップを取り付けた状態をさします。また、「ストラップなし」はストラップをピンに取り付けていないか、2つのピンのうち、どちらか一方のピンにのみ取り付けられている状態をさします。

1 信号コネクタ

N8151-26/N8151-43 内蔵 DAT を制御するための SCSI 信号コネクタです。

2 DCコネクタ(+5V/+12V)

N8151-26/N8151-43 内蔵 DAT に電源を供給するためのコネクタで、基本処理装置内の電源ケーブルを差し込みます。

3 オプションジャンパ

本装置の背面にあるジャンパピンでは次の設定を行うことができます。

- SCSI ID (工場出荷時の設定は「ID4」)
- パリティ機能 (工場出荷時の設定は「有効」)

SCSI IDの設定

本装置が使用するSCSI IDを設定します。設定は背面にあるジャンパピンの「ピン0」～「ピン3」の4本のピンを使います。



- ピン3 (工場出荷時: ストラップなし)
- ピン2 (工場出荷時: ストラップあり)
- ピン1 (工場出荷時: ストラップなし)
- ピン0 (工場出荷時: ストラップなし)



重要

他のSCSI機器とSCSI IDが重複していないことを確認してください。

SCSI ID	ピン3	ピン2	ピン1	ピン0
0	x	x	x	x
1	x	x	x	
2	x	x		x
3	x	x		
4*1	x		x	x
5	x		x	
6	x			x
7*2	x			
8		x	x	x
9		x	x	
10		x		x
11		x		
12			x	x
13			x	
14				x
15				

= ストラップあり

x = ストラップなし

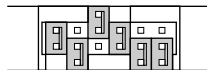
*1 出荷時の設定。

*2 SCSI IDをID7に設定しないでください。

バリティ機能の設定

バリティ機能の設定を設定します。設定は背面にあるジャンパピン一番左側のピンを使います。

ストラップありにすると、バリティ機能は「有効」になります(工場出荷時の設定)。ストラップなしにするとバリティ機能は「無効」になります。



PE (工場出荷時：ストラップあり)



重要

出荷時設定のままお使いください。

基本処理装置等への設置方法



⚠ 注意

電源がONのまま取り付け・取り外しをしない
本装置の取り付け・取り外しの際や、ケーブルの接続の際は必ず主電源に接続している電源コードをACコンセントから抜いてください。電源コードがACコンセントに接続されたまま取り付け・取り外しや接続をすると感電をするおそれがあります。

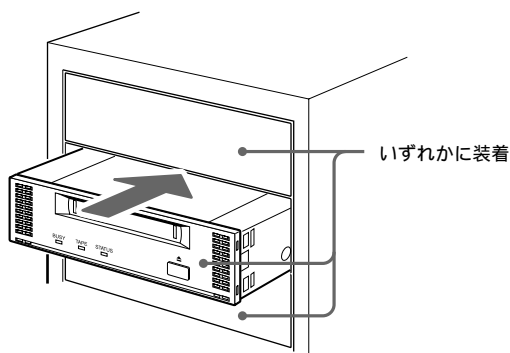
基本処理装置機器等への設置方法例を以下に示します。



ヒント

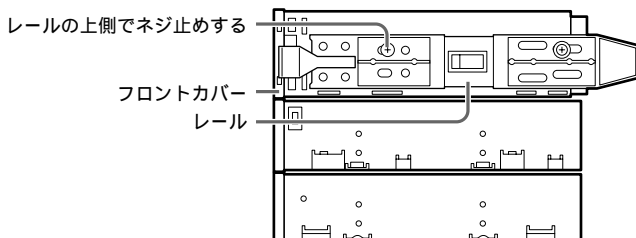
基本処理装置によってはレールを使用するものもあります。設置方法については、基本処理装置の取扱説明書も参照してください。

- 1 下の図の位置にN8151-26/N8151-43内蔵DATを取り付けます。

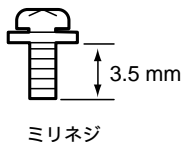


重要

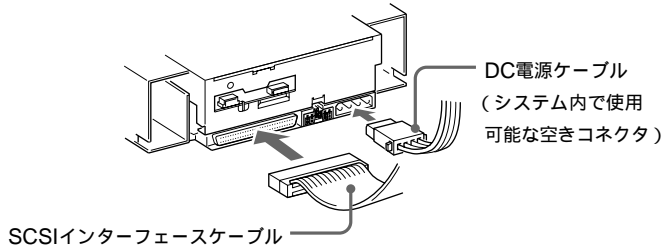
- レールを使用する場合には、フロントカバーの面と本体標準設備のCD-ROMドライブなどのフロントカバーが平行になるようにレールの取り付け位置を調節してください。



- 必ず本装置に添付されているネジを使って固定してください。本装置に添付のネジは、ミリネジ(長さ5.0 mm、ワッシャより下の長さ3.5 mm)です。添付のネジより長いものを使用すると装置の故障の原因となります。



2 下の図のようにインターフェースケーブルを接続してください。



重要

- 設置の際には、SCSI ID 等の各設定の確認をお願いします。
- 本装置の出荷時のSCSI IDは4に設定されております。他のSCSI IDと重複しないように設定してください。

基本処理装置側の設定方法

テープデバイスドライバのインストール

Windows NT 4.0のNTバックアップを使用する方のみインストールしてください。

基本処理装置にテープデバイスドライバをインストールします。ドライバのインストールには、添付のフロッピーディスクを使用します。あらかじめ用意しておいてください。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」をポイントして「コントロールパネル」をクリックする。
「コントロールパネル」ダイアログボックスが表示されます。
- 2 「コントロールパネル」の「テープデバイス」をクリックする。
「テープデバイス」ダイアログボックスが表示されます。
- 3 「ドライバ」タブをクリックする。

- 4 「追加」ボタンをクリックする。
「ドライバのインストール」ダイアログボックスが表示されます。
- 5 「ディスク使用」ボタンをクリックする。
- 6 添付のフロッピーディスク「Windows NT Ver.4.0 Driver for SDT-11000」をフロッピーディスクドライブにセットする。
- 7 「配布ファイルのコピー元」ボックスにフロッピーディスクをセットしたドライブ名を入力する。
- 8 「OK」ボタンをクリックする。
ドライバのコピーが始まります。
- 9 インストール後、「テープデバイス」ダイアログボックスの「ドライバ」シートに「NT 4.0 Sony drive」と表示されていることを確認する。
- 10 「OK」ボタンをクリックする。
- 11 「Windows NT セットアップ」を終了し、システムを再起動する。

 **重要**

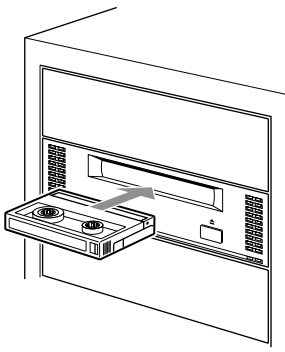
NT バックアップを使用する場合は、他のバックアップアプリケーションをインストールしないで下さい。

インストールした場合は、アンインストールしてください。また、NT バックアップ以外のバックアップアプリケーションを使用する場合は、「NT 4.0 Sony SDT-11000 4mm DAT drive」を削除してください。

N8151-26/N8151-43の使用方法

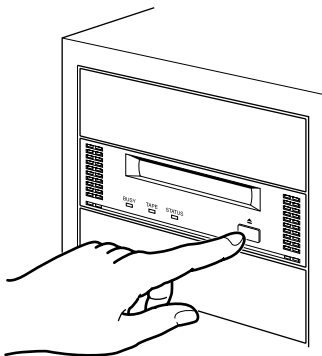
4mmデータカートリッジの挿入

- 1 下図のように4mmデータカートリッジを矢印の方向に挿入します。
ある程度挿入すると4mmデータカートリッジが自動的に引き込まれます。



4mmデータカートリッジを取り出すには

- EJECT ボタンを押します。
4mmデータカートリッジは自動的に排出されます。



重要

- 4mmデータカートリッジが排出されるまで、最長約20秒かかります。(テープの巻戻し時間は含みません。)
- カートリッジを入れたままでの移動はやめてください。
移動する場合は、必ずカートリッジを本装置から取り出してください。衝撃が加わったとき、装置やカートリッジを傷める場合があります。

- 電源を切るときは、カートリッジを取り出してください。
カートリッジを入れたままで電源を入れると、カートリッジの寿命が短くなったりバックアップに失敗する場合があります。
 - カートリッジが挿入口から飛び出している状態で長期間放置しないでください。
カートリッジの寿命が短くなったり、本装置の故障の原因となることがあります。
 - BUSY LED が点滅中はEJECT ボタンを押さないでください。
BUSY LED が点滅しているときに4mm データカートリッジを取り出すと、テープ上に記録されているデータが破壊される恐れがあります。
 - EJECT ボタンを押してもカートリッジが排出されない場合には、EJECT ボタンを10秒以上押し続けることで強制的に排出させることができます。ただし、強制排出はテープを傷つける可能性もありますので、あくまでも緊急処置とお考えいただき、まずは電源OFF/ONによる再起動を行ってください。
-
-

清掃

ヘッドの清掃

クリーニングは、テープ走行によって生じるゴミや使用環境のほごりによる磁気ヘッド部分への汚れを取り除く大切なものです。磁気ヘッド部分が汚れたまま書き込み/読み取り等、行いますと正常に書き込み/読み取りができなくなる、データカートリッジの寿命が短くなる、テープ表面にキズが付き使用できなくなる、などの障害が発生します。

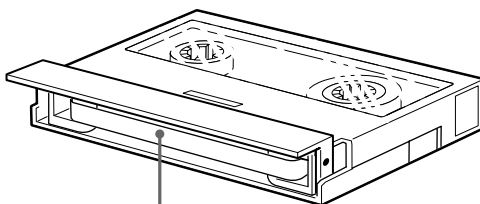
- 1 添付のクリーニングカートリッジまたは、EF-3237C/EF-3237CNを本装置に挿入します。
クリーニングが自動的に行われ、約30秒後にクリーニングカートリッジが排出されます。

2 クリーニングカートリッジを取り出します。

これでクリーニングが完了です。通常どおりでご使用ください。

重要

- ・クリーニングカートリッジは、EF-3237Cの場合は約30回、添付品またはEF-3237CNの場合は約50回使用できます。クリーニング終了後に、STATUS LEDが点滅したときは、クリーニングカートリッジが寿命です。(LED表示は4ページ各部の名称 [4] STATUS LEDを参照してください。)
- ・使い切ったクリーニングカートリッジを挿入した場合は自動で排出されません。EJECTボタンを押して取り出してください。
- ・クリーニングカートリッジのテープ面を手で触れたり、テープを巻戻して再使用しないでください。



クリーニングテープ面

ヘッドの清掃周期

クリーニングの周期は使用環境によってもことなりますが、以下を参考にしてください。

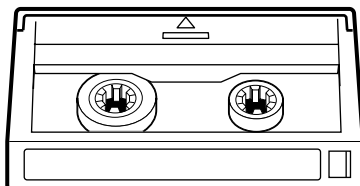
使用頻度	クリーニング周期
1日1巻以下を使用	1週間に1回
1日2～3巻を毎日使用	1週間に2回
1日4巻を毎日使用	毎日

ヒント

- ・クリーニングはなるべく書き込み/読み取り等、本装置を使用する前に行ってください。
- ・新しいデータカートリッジに交換する前にはクリーニングを行ってください。
- ・本装置を使用していない場合でも1ヶ月に1回はクリーニングを行ってください。

4mmデータカートリッジ

4mmデータカートリッジの構造



使用・保管・運搬条件

使用条件

温度	10 ~ 35
湿度	20 ~ 80 % ただし、湿球の最高温度は26 とします。
放置時間	使用および保管環境条件以外の環境に4mmデータカートリッジがさらされていた場合には、使用および保管環境条件以外の環境にさらされていた時間より長く(最大8時間)使用環境になじませてから使用してください。温度勾配は10 / 時間とします。

保管条件

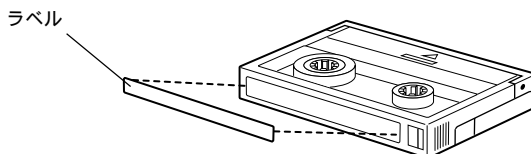
温度	5 ~ 35
湿度	20 ~ 80 % ただし、湿球の最高温度は26 とします。
保管状態	4mmデータカートリッジは保護ケースに入れてふたをして保管してください。 置き方は水平、垂直どちらでもかまいません。

運搬条件

温度	- 30 ~ 35
湿度	20 ~ 80 % ただし、湿球の最高温度は26 します。
温度勾配	10 / 時間
運搬状態	4mmデータカートリッジを保護ケースに収納し、ポリ袋に入れて密閉してください。 輸送の場合には、さらにダンボール箱に入れて4mmデータカートリッジに力が加わらないように包装してください。

ラベル

ラベル貼付位置



ラベルへの記入上の注意事項

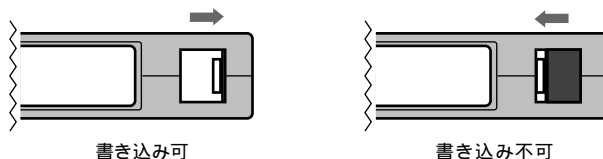
- 4mmデータカートリッジの内容を表示するために用いるラベルは簡単に取り換えることが可能で、取り外したあとに粘着物が残らないようなものを使用してください。
- 内容の表示を変更するときは、消しゴムで消さず、必ずラベルを貼り換えてください(INDEXラベルは、4mmデータカートリッジに添付されています)。
- ラベルを貼るときは前項で指定された位置に確実に貼り、さらに取り換える場合は、古いラベルを取り除いてから新しいラベルを貼ってください。
- 指定のINDEXラベル以外のものを使用する場合は、大きさが合ったものを使用してください。

- ・添付のINDEXラベルには、使用開始年月日が記入できるようになっていますので必ず記入してください。4mmデータカートリッジの寿命をチェックする目安となります。

ライトプロテクト

ライトプロテクトプラグを右下の図のように設定するとテープの内容が保護されます。

一度書き込んだデータを消去したくないときには、このプラグを右下の図のように設定してください。またライトプロテクトプラグを左下の図のように設定するとテープに書き込み可能となります。



取り扱い上の注意事項

使用上の注意事項

使用する前

- ・使用する4mmデータカートリッジが、外的損傷を受けていたり、または変形したり曲がっているときは、使用しないでください。
- ・装置の使用温湿度条件外で保管されていた4mmデータカートリッジを使用する場合は、使用温湿度条件外にあった時間より長く(最大8時間)使用環境に持ち込んでから使用してください。保管場所と使用場所の温度差が大きい場合は、一度に持ち込むのではなく温度変化が1時間に10程度になるようにして、4mmデータカートリッジを使用場所の温度になじませてください。

装置への装着時間

「4mmデータカートリッジの挿入」の項の説明に従って4mmデータカートリッジを装着してください。4mmデータカートリッジを取り出したあとの保護ケースは、しっかりと閉じチリやホコリの少ない場所で保管してください。

使用后

使用済みの4mmデータカートリッジは必ず保護ケースに入れてチリやホコリの少ない場所で保管してください。置き方は水平、垂直を問いません。

一般的注意事項

- テープに手を触れないでください。また、テープカバーを開閉しないでください。
- 磁気を発生するものを近づけないでください。
- 直射日光や暖房器具の近くには置かないでください。
- 強い衝撃を与えないでください。
- 飲食や喫煙をしながらの取り扱いは避けてください。また、シンナーやアルコールなどを付着させないように注意してください。
- 使用後は必ずケースに入れて保管してください。
- 装置への挿入は、ていねいに行ってください。
- 4mmデータカートリッジ磁気テープは、ゴミやホコリを嫌います。

使用禁止基準

以下の項目に該当する場合は、新しい4mmデータカートリッジに取り替える必要があります。

- ・落下させるなど強い衝撃を与え4mmデータカートリッジが損傷を受けた場合。
- ・清涼飲料、コーヒー、紅茶など液体、溶剤や金属粉、たばこの灰などで記録面が汚れている場合。

備考

この状態で4mmデータカートリッジを装置に挿入するとヘッドや装置を損傷したり、汚したりすることになり、装置の故障の原因となります。また、ヘッドの汚れや傷に気付かず新しい4mmデータカートリッジを装置に挿入すると、4mmデータカートリッジを汚したり、傷つけたりして被害を広げることになります。

寿命

データカートリッジは書き込み/読み取り等を行う度に消耗しています。消耗したカートリッジを使用し続けることはエラーの原因となるだけでなく、書き込んだデータの破損にいたる場合がありますので、長い間使用しているテープは交換してください。

データカートリッジの寿命は使用環境によってもことなりますが、以下を参考にしてください。

使用頻度	寿命の目安
1週間に1回	1年
1週間に3回	半年
毎日	3ヶ月

- ・使用環境(温度・湿度・塵埃等)によって、目安より短くなることがあります。

4mm データカートリッジの寿命管理として、下記の手順を実施いただくことをお勧めします。

- 新しい4mmデータカートリッジに管理番号を割り当て、その番号を4mmデータカートリッジのラベルに記入しておきます。
- 4mmデータカートリッジ管理台帳を作り、使用日を記録し、4mmデータカートリッジの使用年数と使用回数を見積ります。
- 定期的に、4mmデータカートリッジの管理台帳と標識ラベルを調べ、長く使用されていたり、書き込み、読み取りエラーが発生するなど信頼性が低い4mmデータカートリッジを廃棄します。

またテープ磁性層は、化学物質で構成されており時間経過と共に劣化します。

この劣化によるテープ寿命は、テープ保管の環境(湿度、温度)により大きく異なりますが、カートリッジを使用していない場合でも、購入してから約3年を目安に交換してください。

重要なデータのセーブについて

重要なデータまたはプログラムなどをセーブする場合には、万一の場合に備えて、正副2巻にセーブすることをお勧めします。

また、セーブする際にはバックアップソフトのベリファイ機能を利用し、セーブしたデータの確認も実施していただくこともお勧めします。

ベリファイ機能の利用方法については各バックアップソフトの取扱説明書を参照してください。

こうしておけば一方のテープがチリやホコリによるリードエラーを起こしても、もう一方のテープから復旧でき、大切なデータやプログラムの消失を防げます。

データの3世代管理について

ディスク上のデータをセーブする場合は、セーブしたデータの3世代管理をお勧めします。

3世代管理はテープ3巻(A、B、C)を使用して、ディスク上のデータを1日目はテープAにセーブし、2日目はテープBに、3日目はテープCにセーブするというように、A B Cの順番でディスク上のデータをセーブしていくものです。

これにより、例えば一巻のテープCがリードエラーを起こした場合にはテープBのデータを使用してデータを復旧でき、またテープBがリードエラーを起こした場合でもテープAのデータを使用して大切なデータを復旧することができます。

データカートリッジの保管について

決められた保管条件を守り、保管場所を常に清潔に保ってください。

書き込みを禁止にしておくことをお勧めします。

長期間にわたって保管する場合は、常にバックアップデータが復旧可能であることを確認するため、定期的にデータの読み出しを行ってください。

万一の場合を想定してシステムから遠く離れた場所に保管しておくことをお勧めします。正副2巻のデータカートリッジがある場合には、正、副それぞれを異なる場所に保管しておくことさらに効果的です。

付録

主な仕様

性能

記憶容量	20 G バイト(圧縮時: 40 G バイト)EF-2422 使用時
	12 G バイト(圧縮時: 24 G バイト)EF-2417 使用時
	4 G バイト(圧縮時: 8 G バイト)EF-2409 使用時

* 圧縮時の値は圧縮効率が2倍である場合の値です。圧縮効率はデータターンにより変化します。

ビットエラーコード 10¹⁵ 以下

データ転送速度(TAPE) 2.36 M バイト / 秒(非圧縮時)EF-2422 使用時

バーストデータ転送速度(SCSI)

14 M バイト / 秒(最大、非同期)

40 M バイト / 秒(最大、同期)

イニシャライズ時間 1 秒未満

ロード時間 24 秒未満

アンロード時間 20 秒未満

巻き戻し時間 80 秒未満

環境条件

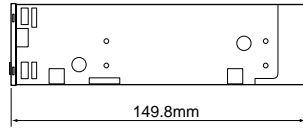
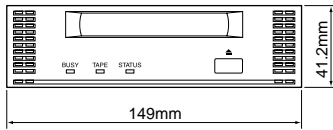
	周囲温度	相対湿度	最大湿球温度
動作時	10 ~ 35	20% ~ 80%	26 結露なきこと
運搬時	- 30 ~ 40	10% ~ 90%	26 結露なきこと
保管時	- 5 ~ 40	10% ~ 90%	26 結露なきこと

DC電源仕様

電圧	5 V ± 5%	12 V ± 10%
電流(Max.)	2.0 A	1.6 A

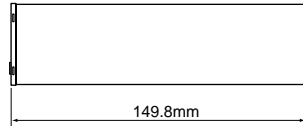
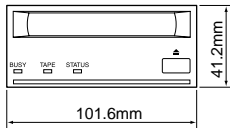
寸法・重さ

N8151-26



重量 0.91 kg以下

N8151-43



重量 0.6 kg以下

LED表示一覧

DAT装置					対処方法
テープ状態	装置状態	LED	点灯状態	意味	
正常	正常	BUSY	点灯または消灯	<ul style="list-style-type: none"> ・BUSY が点灯しているときはSCSI がアクティブです。 ・データカートリッジが挿入されていません。 	
		TAPE	消灯		
		STATUS	消灯		
正常	正常	BUSY	等間隔に点滅	<ul style="list-style-type: none"> ・データカートリッジが走行中で、読み取り/書きこみ動作を行っています。 	(注)この点灯状態の時に電源を落とさないようにご注意ください。
		TAPE	点灯		
		STATUS	***		
正常	正常	BUSY	等間隔に点滅	<ul style="list-style-type: none"> ・データカートリッジの出し入れを行っています。 	(注)この点灯状態の時に電源を落とさないようにご注意ください。
		TAPE	等間隔に点滅		
		STATUS	***		
正常	正常	BUSY	点灯、消灯、または等間隔に点滅	<ul style="list-style-type: none"> ・データカートリッジが挿入されています。 	(注)この点灯状態の時に電源を落とさないようにご注意ください。
		TAPE	点灯		
		STATUS	***		
正常	正常	BUSY	***	<ul style="list-style-type: none"> ・挿入されたデータカートリッジが書き込み禁止状態になっています。 	(注)この点灯状態の時に電源を落とさないようにご注意ください。
		TAPE	点灯		
		STATUS	点灯		

		DAT装置			対処方法
テープ状態	装置状態	LED	点灯状態	意味	
正常	正常	BUSY	消灯	・クリーニングカートリッジを使いきってしまった。	・新しいクリーニングカートリッジと交換してください。また、交換された古いクリーニングカートリッジは再使用しないでください。
		TAPE	点灯		
		STATUS	等間隔に点滅		
正常	正常	BUSY	***	・クリーニング要求を意味します。	・クリーニングを実施してください。 ・クリーニングを実施後、すぐに同じエラーが発生した場合には、新しいデータカートリッジを使用してください。
		TAPE	***		
		STATUS	長い点灯と短い消灯の繰り返し		
正常 または 異常	正常	BUSY	***	・データカートリッジが挿入されており、定義されたメディアウォーニングしきい値を超えたエラーが発生しています。 「警告のみ」 (データカートリッジが劣化しています。)	・純正のクリーニングカートリッジを使用してヘッドのクリーニングを実施してください。クリーニング後再度データカートリッジを挿入し同じエラーが発生した場合には、新しいデータカートリッジを使用してください。(または、クリーニング後新しいデータカートリッジを使用してください。)
		TAPE	長い点灯と短い消灯の繰り返し		
		STATUS	***		
正常 または 異常	正常 または 異常	BUSY	短い点灯と長い消灯の繰り返し	・リセット待機状態	・データカートリッジは、イジェクトボタンを押しても排出しません。 ・本装置がハード的に故障している可能性があります。 ・電源のOFF/ONによる再起動を行ってください。再起動後も同じエラーが発生した場合は故障です。本装置の交換が必要です。
		TAPE	***		
		STATUS	***		

		DAT装置			対処方法
テープ状態	装置状態	LED	点灯状態	意味	
正常 または 異常	正常 または 異常	BUSY	***	・イジェクト待機状態	・データカートリッジをイジェクトしてください。新しいデータカートリッジを使用してください。データカートリッジを変えてもこのエラーが発生した場合は故障です。本装置の交換が必要です。
		TAPE	短い点灯と長い消灯の繰り返し		
		STATUS	***		
異常	異常	BUSY	***	・装置が異常です。	・本装置がハード的に故障しています。 ・本装置の交換が必要です。また、このとき使用していたデータカートリッジは、ハード故障によりデータが破壊している可能性があるため、別のデータカートリッジを使用してください。 なお、このエラーが発生した本装置及びデータカートリッジは再使用しないでください。
		TAPE	***		
		STATUS	短い点灯(2回)と長い消灯の繰り返し		

*** は本装置の状態に応じてLEDの点灯のしかたが変わりますが、意味や対処方法に影響しません。

運用状況お客様記入シート

本装置を保守・管理する際に必要な情報を記録しておくメモ欄です。

項目	記入欄
基本処理装置モデル名	
オペレーティングシステム (OS)(名称、バージョン、 サービスパック / パッチの適用 状況)	
バックアップアプリケーション (名称、バージョン、サー ビスパック / パッチの適用 状況)	
SCSI バス構成 (SCSI ID / 同一バス上のデ バイス) 装置設置環境	
装置設置環境 (温度、湿度、ホコリの状況な ど)	
カートリッジ種類 (メーカー名、EF 型番)	
クリーニングカートリッジ種 類(メーカー名、EF 型番)	
クリーニングカートリッジ使 用状況(クリーニング周期、 使用回数や使用開始月の管 理方法など)	
カートリッジ使用状況 (使用回数や使用開始月の 管理方法など)	
カートリッジの管理状況	

N8151-26/N8151-43
内蔵 DAT 取扱説明書

2001年5月 初版

2001年9月 第2版

日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目7番1号
TEL(03)3454-1111(大代表)

© NEC Corporation 2001

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
本書の内容は予告なく変更することがあります。

NEC

Printed in Japan

このマニュアルは再生紙を使用しています。

